

J-MCP(*) 21st Century Skills Program 2021 募集要項

1 プログラム内容

本プログラムは、COIL (Collaborative Online International Learning) という教育手法を用いて、日本にいながらにしてオンラインで世界各国の学生と繋がり、英語を共通言語として学んでいくプロジェクト型学習プログラムです。

コース概要	<p>プログラムでは、グローバルな舞台で活躍できる人材に必要な能力の育成を目指しています。特に 21 世紀スキルと呼ばれる、国際的な職場での成功に必要とされる能力と知識の獲得を目指しており、プレゼンテーションスキル、批判的思考、異文化間コラボレーション・異文化対応コミュニケーション能力の向上、リテラシーの習得などがあげられます。国内外からの参加学生との協働プロジェクトを通して、それらの能力育成を目指します。海外とのオンライン協働学習 (COIL) を通して海外の多様な国の学生たちと学習を進めます。単なる語学習得だけでなく、21 世紀の世界でリーダーシップを発揮できる人材に必要なスキルを習得出来るプログラムとなっています。また事前事後研修では、心理的な変化や英語のスピーキングの能力のテストを用意していますので、自らの成長を確認することができます。</p> <p>(*)J-MCP (Japan-Multilateral COIL/VE Project) とは、従来型 COIL (Collaborative Online International Learning) の科目ではなく、国内外から参加する複数の大学が共同で遂行するプログラムです。</p>		
応募要件 外国語要件	<p>CEFR B2 程度もしくは GTEC 215+、TOEFL ITP 450+、TOEFL iBT 45+、TOEIC 440+ が望ましい。</p> <p>4 技能 (聞く・読む・話す・書く) について、総合的なレベルがあることが望ましい。</p> <p>聞く：長い話や複雑な議論の流れを理解することができる。</p> <p>読む：何度も読み返せば、自分の専門分野の文章や説明書などを、詳細に理解することができる。</p> <p>やりとり：母語話者同士の議論に参加できないこともあるが、自分が学んだ内容や自分の興味や経験の範囲内の内容なら、抽象的な話題であっても、議論できる。</p> <p>発表：関心のある分野の話題であれば、論拠を並べ自分の主張を明確に述べることができる。</p> <p>書く：知識のある話題についてなら、多くの情報源から情報や議論を整理し、それに対する自分の考え方の根拠を示しつつ、ある程度のまとまりのあるレポートなどを書くことができる。</p>		
対象	学部生、院生	担任者	国際部 専任教員および教育推進部特任教員
参加費	無料	募集人数	20 名

	<p>【事前研修】</p> <p>日時：2月7日～16日</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2月7日 オリエンテーション（※リアルタイムでZoomで実施します） • 使用プラットフォーム ImmerseU の登録（オンデマンド） • 事前課題（オンデマンド） • 国際交流の効果を測定する試験 BEVI（オンデマンド） • 英語コミュニケーションテスト Versant の受験等（オンデマンド） <p>【メインプログラム】</p> <p>日時：2022年2月17日～3月21日</p> <ul style="list-style-type: none"> • ライブ講義：毎週 月曜日、木曜日 10:00 am - 11:30 am（日本時間） • 最終課題発表会 <p>参加学生：国内外学生約 80 名</p> <p>講義テーマ：21世紀スキルと呼ばれる、国際的な職場での成功に必要とされる能力と知識の獲得を目指しており、プレゼンテーションスキル、批判的思考、異文化間コラボレーション・異文化対応コミュニケーション能力の向上、リテラシーの習得等</p> <p>活動内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 講義受講 • グループワーク（国内外学生混合グループ） • 課題（講義前後に ImmerseU を通して提出） • グループ発表 <p>【事後研修】</p> <p>日時：3月22日～27日（オンデマンド）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 事後課題 • BEVI、Versant の2回目の試験受験（プログラム前後で比較するため） • プログラム活動の振り返り <p>合計活動時間：70時間（事前事後研修 10時間 + メインプログラム 60時間）</p> <p>※活動日時や内容は、今後変更することがあります。</p>
共催	アジア太平洋大学交流機構（UMAP）

2 事前・事後研修

参加決定者は、以下のとおり事前研修・事後研修があります。研修期間中に受験していただく2種類の試験では、英語力と心理面における国際交流の効果を図ります。

※両試験の結果は受験者が確認できるようになっています。

1. 全ての手続きおよび課題等の提出物を定められた期日を守って提出 / 受験してください。
2. やむを得ない事情（授業との重複等）により研修に参加できない場合は、必ず事前に申し出たうえで、プログラム担当者または国際部からの指示に従ってください。
3. 本プログラム参加準備に対して積極的かつ誠実な対応で臨むよう努めてください。

事前研修 【必須】	2022年2月7日～16日 <ul style="list-style-type: none">2月7日 オリエンテーション（※リアルタイムでZoomで実施します）事前課題（オンデマンド）国際交流の効果を測定する試験 BEVI（オンデマンド）英語コミュニケーションテスト Versant の受験等（オンデマンド）
事後研修 【必須】	2022年3月22日～27日 ※オンデマンド <ul style="list-style-type: none">ImmerseU上でオンデマンド配信講義と課題を行うBEVIテスト（プログラム後）受験Versantテスト（プログラム後）受験

※ImmerseUは、事前・事後研修で主に使用するオンラインツールです。

3 応募～参加者決定までの流れ

申込方法	オンラインフォーム（URL： https://bit.ly/KU21CSP または右記QRコード） より必要事項を記入の上、提出してください。 (ログインの際は、アカウントに「k*****@kansai-u.ac.jp」、 k*****及びパスワードはインフォメーションシステムと同じものを入力します。)
募集締切	2022年1月6日（木）正午（日本標準時）
参加決定	【参加者決定方法】申請内容（志望理由）と面接による選考 【面接】実施予定日：2022年1月11日、13日、14日 実施時間：10分程度 ※申込確認後に詳細をお知らせします。 【参加者決定時期】2022年1月24日（月）

※プログラムの趣旨を十分理解すること。決められた期日までに必要書類を提出しない、または必要な手続きを行わない、事前・事後研修の無断欠席など、素行上の不良が確認された場合は、プログラムへの参加が認められないまたは単位認定がされない場合があります。

4 単位認定

すべての活動に参加した上で、プログラム内で指定された提出物を提出し、各学部において総合的に評価され認められた場合、単位認定（合格・2単位）を行います。なお、大学院及び今学期卒業見込みの学部生、休学中の学生については、単位認定されません。また、学部・年次により単位認定の取扱(科目の位置づけや卒業所要単位への算入)が異なりますので、下記及びHAND BOOKを必ず確認してください。

○2020年度以前入学者

KUGF Field Study (International Collaborative Learning)という科目名で単位認定を行います。

既に、この科目で単位を修得している場合、単位認定はされません（プログラムの参加は可能です）。



○2021年度入学者

KUGF Field Study (J-MCP 21st Century Skills Program)という科目名で、単位認定を行います。



5 お問い合わせ

国際教育支援室 / グローバル教育イノベーション推進機構 (IIGE) 事務局

お問い合わせの際は必ず件名に【21st Century Skills 2021】と明記してください。

ku-coil@ml.kandai.jp